

夢を実現するために、
今しなくてはいけないことは
——一生勉強、一生青春——

東京都清瀬市立第三中学校

1年生出張授業講義資料

2017年7月6日(木)

14:35～15:25

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 学校時代に教わったことばで、今も大切にしているものは何ですか。

- A : (1)「新聞を毎日読む」
(2)「練習で泣いて試合で笑え」
(3)「ブルドッグ魂(だましい)、(食いついたら離すな)」
(4)一所懸命(1つのところで命を懸けるくらい、熱心に取り組もう)」
(5)「スポーツの3つの宝」
①練習は不可能を可能にする
②フェアプレイ (いやしいプレイはしない)
③よき友



Q 2 : 夢を実現するために、今しなくてはならないことは何ですか。

- A : (1)世の中のことをよく知ること。
①今までの世の中のことをよく知ること
②今の世の中では何が起きているかを知ること
③これからの世の中はどのようになるかを知ること
(2)過去・現在・未来の「世の中」のことをよく知った上で、自分がこれからしたいこと、「自分の夢」とは何かを少しずつ考えること。
(3)「自分の夢」とは何かを少しずつでもはっきりしてきたら、その夢を実現するにはどうしたらよいかをよく考えること。

Q 3 : エッ、結構大変そうですね。

- A : (1)あまり難しく、また、深刻に考えなくても OK です。ただ、大事なことは、「自分の力」で考えること、もっと言えば、「では、どうしたいのか」を自分の力で決めることです。
(2)私の場合はどうだったか、参考までにお話しします。
①小学校 4 年生のクラス担任の先生に、小学校 4 年生になったら「わかるところだけでいいから新聞を毎日読むように」と教わりました。その日から、家で取っていた毎日新聞を高校を卒業するまで毎日読んでいました。
②新聞を読めば読むほど、世の中には不条理なこと、許しがたいことが多いことを知り、正義感のようなものが芽生えたためか、中学校 2 年生のころに弁護士になりたいと思うようになりました。
③市の図書館に行き、弁護士になるにはどうしたらよいかを調べたら、司法試験という国家試験に合格しなければならないことがわかりました。
④どうすれば司法試験に合格するのかを調べていくと、司法試験に合格者をたくさん出す大学の法学部に進学して、法律の勉強をすることが大切だということがわかりました。
⑤そのような大学に進学するには、栃木県立足利高校に進学して大学を目指すことが、自分が通える範囲では、一番よい方法であることがわかりました。
⑥そこで、中学校 2 年生のころから足利高校を目指して勉強し、無事、足利高校に合格しました。高校入学後も、法律を学べる大学を目指して勉強しましたので、慶應義塾大学法

学部法律学科の入試に合格し、法律の勉強をスタートしました。

⑦ただ、司法試験には何回か挑戦しましたが、勉強不足のため合格しませんでした。そこで、学習塾を開業し現在に至っています。

Q 4 : 林さんは学習塾以外にも、介護施設の役員や高校の理事長、大学の客員教授など、仕事や社会的な活動をなさっているようですが、自分の経験を踏まえて、「夢を実現するために、今しなくてはいけないこと」は何だとお考えですか。できるだけ具体的にお話してください。

A : (1) 中学校で、今、学んでいることはすべて中 2・3 年など上の学年や、高校や大学、専門学校、専修学校、短期大学、大学院などの上の学校の基礎・基本となりますので、すべて役に立ちます。

(2) また、学校を卒業して社会に出て、仕事に就いたり社会的な活動をしたりするときにも、すべて役に立ちます。一生にわたって役に立ちますので、全教科ともしっかりと身につけてくださいね。

* ですから、学校で学んだ教科書や教材、辞書などは決して処分しないことが大切です。上級学校で勉強するときに、読み直してください。学校を卒業した後も、時々読み直して学校時代の勉強を深め、自分のものとしてください。学校で用いた教科書や教材、辞書などを一生学び続けると、素晴らしい人生を送ることができます。

(3) 教科以外の教育活動も、上の学校で学ぶときや、社会に出て仕事や活動をするときに、とても役に立ちます。一生役に立ちますので、しっかりと取り組んでくださいね。

* 学校の部活動などで取り組んだスポーツや芸術活動は、上級学校でも、社会に出てからも、何らかの形で継続しましょう。「スポーツの 3 つの宝」を少しずつ手に入れることができますよ。

Q 5 : 自分の「夢を実現する」ために中学校時代に身につけておいたほうがよいことは、このほかにもありますか。

A : (1) 「学習の方法」を身につけておくとよいと思います。

① 社会に出ても学び続けなければならないからです。

② 何か新しいことを勉強するたびごとに、「予習の仕方」、「授業の受け方」、「復習の仕方」、「テストの受け方」など「学習の方法」を考えて悩んでいたのでは、夢は実現しません。

③ 学校時代に身につけておきましょう。

(2) 仕事はメモで身につけるといわれます。

① 大切なことをノートに取ることも大切な能力で、社会に出てから役に立ちます。

② メモやノートを整理して、あとで役に立てることも大切です。

③ 大切なことはノートにまとめ、「My Notebook」を作って活用してください。

(3) 「読解力」(文章を読む力)を身につけることです。

① 辞書を用いる力(わからないことばがあったら気持ちが悪いと考え、辞書で調べると、知っていることばの数が増えます)

② 新聞を読む力(新聞は毎日読みましょう)

③読書をする力(これぞという本は5～6回読みましょう)

(4)「5S(ごえす)」を行いましょ。

- ①「整理」 seiri …不要なものを処分する
- ②「清掃」 seisou …きれいに掃除(そうじ)する
- ③「整頓」 seiton …ものは決まったところに置く
- ④「清潔」 seiketsu …①～③を継続する
- ⑤「躰」 shitsuke …自分から進んで行く

(5)別の意味の「躰」(しつけ)も大切です。

- ①美しい立居振舞い(たちいふるまい)
- ②敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)



Q 6 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」。

(2)「教育ある人」とは、学び続ける人、一生学び続ける人。

(3)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)

ご清聴を感謝いたします。

ご質問があったら、どんどんお聞きください。

